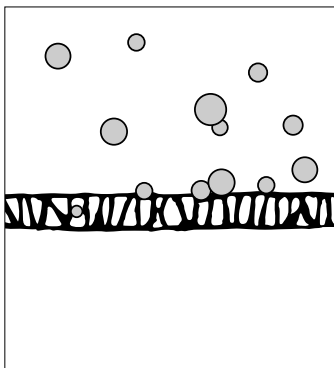


経済的なる過のためのフィルターの組み合わせ

スクリーン、サーフェイス、デプスそれぞれのフィルターの特長を生かし、更にそれらのフィルターの中から、それぞれの個性をもったフィルターを選び、また、プレフィルターとファイナルフィルターを上手に組合せることにより、より経済的なる過が出来ます。

フィルターの種類と構造と特性

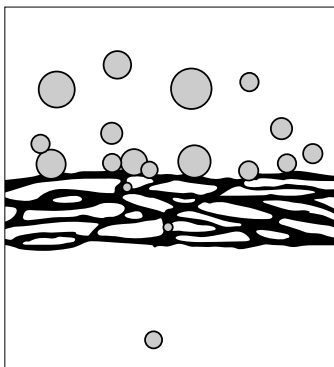


スクリーン フィルター(メンブレン フィルター)

セルローズ、PVDF、PTFE等の薄膜と網目状もしくは不織布と組合せられカートリッジとなります。

一枚の薄膜は連続一体構造ですから素材が二次側に流出することはありません。

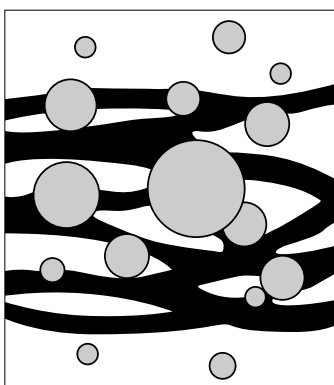
粒子・微生物を捕捉するメカニズムはふるいと同じで、表示された孔径以上の大きさの異物は全て除去され、その表示孔径以上の穴があるかないかの証明ができます。



サーフェイス フィルター

セルローズ等の薄膜もしくはポリプロピレン等の長繊維を薄膜状にしたものと網目状もしくは不織布と組合せられカートリッジとなります。

膜の厚さはメンブレン フィルターに似た薄膜ですので、粒子・微生物を捕捉するメカニズムはメンブレン フィルターに似て表面捕捉が主になります。その表示孔径に対しての捕捉効率は99.99%です。



デプス フィルター

この形態のフィルターは非常に巾広く、多くの素材、形状のものがあります。

けい藻土フィルター、砂フィルターのような積層型、グラスファイバー等をブリーツにしたカートリッジ型、ポリプロピレン、コットンの繊維を糸巻にしたカートリッジ型などがあります。

メンブレンフィルター、サーフェイスフィルターが表面捕捉が主になるのに対して、デプス フィルターは内部捕捉が主になります。従って、汚れを採る絶対量はメンブレン フィルター、サーフェイス フィルターよりはるかに多く、長い過寿命を保ちます。